

小3国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読みとり 92.0%

ねらい：漢字を正しく読むことができるかを問う。

分析と対策：読み方がいくつかある漢字は多くあります。音読みと訓読みを確認し、送りがながあるものは正しく覚えましょう。

2 漢字の書きとり 69.0%

ねらい：漢字を正しく書くことができるかを問う。

分析と対策：漢字のかたちを覚えるとともに、書き順や部首・総画数なども確認しましょう。漢字は読みも書きも両方とも覚えましょう。

3 文を組み立てることば 82.0%

ねらい：主語・述語・修飾語のちがいを問う。

分析と対策：述語を探し、次に主語を見つけたらという基本を覚えておきましょう。修飾語（くわしくすることば）は、どの言葉を問われているのかを把握し、その言葉をくわしくしているものを考えます。ことばどうしをつなげてみて意味が通るかも確認しましょう。

4 なかまのことば 95.0%

ねらい：なかまのことば（ことばの種類）について理解を問う。

分析と対策：語い力の向上は、読解力だけでなく文章力もつけることができます。ことばは、ものの名前や動きを表すもの、様子を表すものなど、いくつかの種類に分けられます。それぞれのことばが文の中でどのように使われるのかを考えてみましょう。

5 説明文の読みとり 55.6%

ねらい：何について述べている文章かが理解できているかを問う。

分析と対策：シャチと人間の関わりりの歴史についてのべた文章です。まず、シャチが人間から恐れられていた事実、さらに人間との出会いが語られます。カナダのバンクーバー水族館でシャチが飼育・公開されたとき、まだシャチについてくわしいことがわかっていませんでした。そしてその調査を始めた博士らには、シャチを見分ける必要があります。どのような見分け方をしたのかを(4)(5)で読み取りましょう。

6 物語文の読みとり 39.7%

ねらい：登場人物の気持ちを読みとることができるかを問う。

分析と対策：「ぼく」はそうまくんと友だちでいたいと思っていることを、お母さんに言えないでいました。ポウリングに行こうと言ったお母さんに「おなかがいたい」とうそを言って留守番をし、バラの手入れに来たそうまくんとかななちゃんを家に入れます。しかし、お母さんにうそを言ったとわかったかななちゃんは「ぼく」を責め、そうまくんと友だちでいたいことをお母さんにちゃんと言わないのは「ひきょうだよ」と言います。そのとき、出かけたはずのお母さんたちが門の外にいたのを見た「ぼく」は、うそがばれていたことを知り、ついに自分の気持ちを言わなければいけないことと向き合います。登場人物の会話や行動から、気持ちやその変化をくわしく読みとっていきましょう。

全体の平均点は60.5点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。
個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。